

CASBEE 京都-新築

標準システム 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都嵐山計画	階数	地上3F
建設地	京都府京都市右京区嵯峨天竜寺芒	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、防火指定なし	平均居住人員	100 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	7,300 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2013年11月15日
敷地面積	5,388 m ²	作成者	永岡、木村、金子、大関
建築面積	979 m ²	確認日	2013年12月1日
延床面積	2,316 m ²	確認者	小西 弘高



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超 ☆

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.7

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 環境配慮設計を推進し、寿命の長いホテル建築を実現する。		その他 既存躯体コンクリートを敷地内でリサイクル活用、明治期の歴史的建築物を4棟保存。
Q1 室内環境 十分な換気風量の確保。	Q2 サービス性能 バリアフリー基準の順守。庭園整備による快適性の確保。	Q3 室外環境(敷地内) 既存庭園・樹木の保存。
LR1 エネルギー 太陽光発電設備の設置。	LR2 資源・マテリアル 既存躯体の継続利用。リサイクル材の使用。	LR3 敷地外環境 庭園整備による雨水流出係数の低減。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい